

21 「上田小県」編集委員会

一 テーマ

会員や地域の方の上田・小県地域に関する優れた学術研究や地域教育に活用できる資料をもとに、読者の知見を広げたり、日々の教育実践の参考になったりするように編集し、発行する。また、読者のニーズに応じたより親しみやすい紙面にしていくための編集の在り方を追究する。

二 活動の経過

214号から217号まで、年4号を発行した。

2023年

5月 今年度発行の方針を決める

より親しみやすい紙面を実現するために、推進の方向性を立案する。

6月 214号の校正

7月 214号の発行 215号以降の紙面のあり方について検討

9月 新しい紙面レイアウトの検討

10月 新しいレイアウトで215号を改編

11月 215号の校正

12月 215号の発行 216号の校正

2024年

1月 216号の発行 217号の校正

2月 217号の発行

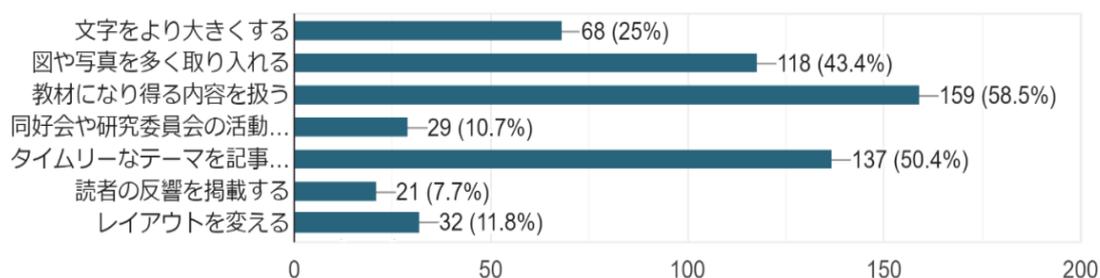
三 まとめと課題

1 成果

(1) 今年度は、歴史分野において、新聞を4回発行することができた。

(2) 昨年度、より親しみやすい紙面を目指して、編集のあり方を研究するためのアンケートを全会員に実施したところ「新聞『上田・小県』の記事を、いつもどのくらい読んでいますか?」の問いに「あまり読まない」「まったく読まない」と回答した会員の割合は約半数であった。読まない理由で特に多かったのが、①忙しくて読んでいられない ②記事の内容に興味を持てない ③文字が多くて読みづらい の3点であった。そして、下の図1は「より読みやすくするためには、どんな点が改良されればよいと思いますか?」という質問に対する回答結果をまとめたものである。

【図1】



アンケートの結果を受け、本年度は、伝統ある本紙の使命を受け継ぎながら、紙面レイアウトの改編に挑戦した。これまでの紙面に比べ、文字や図版資料のサイズが大きくなり、全体の文字数が少なくなったことで、より親しみやすい紙面構成が実現した。今後も会員の意見を大切に、長く親しんでもらえるような新聞づくりに取り組んでいきたい。

- (3) Eメールを活用することで、会館での活動時間の短縮や会合の精選につなげることができた。

2 課 題

- (1) 新聞の使命に沿って、記事を寄稿して下さる個人やグループを探すことが困難になりつつある。新聞で取り上げてほしい内容は、その研究者のご芳名とともに、当委員または会館事務局へご連絡いただくとありがたい。
- (2) 既刊の上田小県のPDF化を進めたい。
- (3) 紙面に対するご意見やご感想を、ぜひ、お寄せいただきたい。